

10月教育委員会定例会 会議録

1 日 時 令和7年10月29日（水）13時15分から14時25分

2 場 所 豊後高田市役所真玉庁舎教育委員会室

3 出席委員

教育長 河野 潔

職務代理者 桑原 猛

委員 松成 康男

委員 護城 和代

委員 山尾 華織

4 事務局

市参事兼教育総務課長 植田 克己

文化財室長 河野 典之

学校教育課長 上家 誠夫

5 書 記

総務管財係長 岩田 隆宏

6 議 題

1 教育委員会事務局10月執行経過報告及び11月行事予定について

2 議題

（1）教職員の働き方改革について

（2）学校行事（運動会・体育大会）の開催状況について

（3）県新人大会の結果について

その他

開会あいさつ 教育長から開会あいさつ

議事進行 桑原職務代理者

（桑原職務代理者）

それでは、只今から、令和7年第10回定例教育委員会を開会いたします。
会議次第に沿って進行します。

○教育委員会事務局10月経過報告について（資料1～2ページ）

教育長から10月執行経過報告について、資料にもとづき説明。

- ・10月 1日～ 中津教育事務所・市教育委員会学校訪問
※1日、2日、8日、9日、14日、15日
- ・10月 5日～ 各学校・園の運動会・体育大会
※5日、11日、12日、16日、17日、18日
- ・10月 12日 田染荘収穫祭
〃 イタリア伝統人形劇公演
- ・10月 16日 第37回九州都市教育長協議会定期総会（～17日）
- ・10月 25日 島原市親善訪問団歓迎交流会
- ・10月 26日 よっちょくれ祭り（新市20周年記念）

(護城委員) 経過報告中にある文化財出前講座とは、どういったことをするものなのでしょうか？

(文化財室長)

学校の場合は、学校のオーダーにより、土器などの文化財を持参しての説明、現地の遺跡に見学に行き、その場で詳細を説明するなどしております。

また、市民の方であれば、自治会やサロンなどの団体からの申し込みの場合は、その地域の文化財の概要説明など、文化財に興味を持ってもらうための説明を行っています。

次のとおり、各委員から「中津教育事務所・市教育委員会学校訪問」における感想・意見等あります。

(山尾委員) 初めて学校訪問に参加。2校訪問し、クラスごとに見学したのですが、時間が短く、様子を掴めないまま、次から次に移動となるので、この短時間の中で何を汲みとるべきなのかと疑問に思いましたので、もう少しじっくり見られる時間設定にしてもらうと良いと思いました。

(松成委員) 1校訪問したのですが、校長先生の熱量を非常に感じました。しかし、教育事務所の方を交えての校長、教頭との討論時には、専門的な話が多く分からぬ部分が多くありました。学校の雰囲気については、運動会前ではあったのですが、落ち着いた非常に良いものでした。専門的な話を交えての討論時については、難しい面もありますが、しっかりと理解したうえで参加できれば良かったと思いました。

すし、一般市民目線での参加となっていましたので、その点が課題であると思っています。

(護城委員) 比較的小さな学校の2校を訪問しました。

1校では、特性のある子を凄く少人数にまとめており、学校ごとの違いを感じました。

また、先生方が準備していただいた資料を基にした説明の中では、学校として「子どもの自由、意思を尊重しよう」というスタンスの紹介があったのですが、教育事務所の方からは、この子たちが社会に出て独り立ちするのには甘すぎるのでないかとの指摘もあり、どちらが正しいのだろうと考えさせられました。

(桑原委員) 今回は、大小の2校を訪問しました。

まったく雰囲気が異なっていることを目の当たりにして、教職員は大変だなと言うのが率直な意見です。

教育が大切であることは、重々承知しているところですが、どのように教育すべきなのは、本当に難しいものであり、企業を経営する者としての立場からも痛感しています。

今回で2回目になるのですが、学校訪問に際しては、個人的に目的を持ち、自社に取り入れられる学校経営の良いところを探すという視点で参加していまして、前回も今回も参考になる部分は早速取り入れました。

しかし、2度目の訪問の中で、教育委員の立場として参加する目的、意義について疑問が生じました。

今回についても、学校訪問があるので参加してくださいという話を受けてだけのものでしたので、この取り組みの目的や、どの視点で学校を見るべきなのかということを理解せずに臨んでいることにより、本来の趣旨からはずれたものになっているのではないかと感じています。

(各委員) その他、意見・質問等なし。

○教育委員会事務局11月行事予定について（資料3ページ）

教育長から事務局11月行事予定について、資料にもとづき説明。

- ・11月 5日 おおいた教育の日推進大会（日出町）
- ・11月 17日 さわやかあいさつ運動推進委員会・推進大会
- ・11月 23日 国東半島駅伝競走大会
- ・11月 25日 文部科学省職員地方教育行政実務研修（～12月 12日）

(山尾委員) 17日の「さわやかあいさつ運動推進委員会・推進大会」の開催場所はどこでしょうか？

(教育総務課長)

高田庁舎2階のコスモスホールで開催します。

(松成委員) 22～24日までの間に行われる「ÜSA ミット×ごちふるマルシェ」では、どのようなことをされるのでしょうか？

(文化財室長)

宇佐市のイベントに出店する中で、日本遺産関連のPR活動を国東市と共に行う予定としています。

場所は、宇佐神宮に隣接するグラウンド内となっています。

(各委員) その他、意見・質問等なし。

○教職員の働き方改革について

(資料4～5ページ)

学校教育課長から資料に沿って説明。

(山尾委員) 説明の中では、今後、教職員調整額が段階的に10%まで引き上げられるとのことでしたが、これまで、時間外に対する手当では無かったということでしょうか？

(学校教育課長)

教職員には、時間外いわゆる残業と言う考え方を当てはめることが難しい側面があり、超勤四項目だけではない様々な事案に対応する必要があるため、調整額と言う形がとられてきた経緯があります。

現在、4%の調整額を10%まで引き上げられることが国から示されているところであります。

(山尾委員) この改正は、市内の幼稚園、保育園にも関係するのでしょうか？

(教育長)

今回の改正内容については、あくまで公立学校の教職員に対するものとなります。

(山尾委員) 説明では、18時以降、学校への電話はつながらないとのことでしたが、緊急時の連絡先などの周知はどうなっていますか？

(学校教育課長)

緊急時の連絡方法については、学校ごとに異なる部分はありますが、保護者等に周知済みであると聞いています。

定期的には、学校の代表メールアドレスや、管理職への連絡方法などを伝えていることが多いようです。

(教育長)

インフラが絶たれた際の緊急連絡については、災害対応時にいつも大きな議論となります。

昨年の大雨などの際には、いたるところで道路が寸断され、学校も孤立してしまう場面がありました。

そのような際にどう対処するかということが課題なのですが、昨年は勤務時間内であったため、職員が学校内に居たから良かったのですが、早朝や夜間の場合はどうするかと論議は続けているのですが、難しい問題となっています。

その解決策のひとつとして、地元の教職員を増やすということが有効なのではないかと、県教委も考えているようあります。

(桑原委員) 資料にある「働きすぎ傾向にある教職員に対する指導」の部分ですが、「働きすぎ」とは、それを測るための基準などはあるのでしょうか？ もしくは、時間外労働が多い場合に対して指導を行うということでしょうか？

「働きすぎ」という表現は、何を基準にしているのかという疑義につながる恐れもあるため、明確にすべきとの観点からお尋ねします。

(学校教育課長)

資料に記載の内容については、過度に時間外勤務を行っている教職員に対する管理職からの指導ということあります。

資料については、県の言葉を引用している部分もありますが、表現として疑義が生じる点もありますので、改めていきます。

(各委員) その他、意見・質問等なし。

○学校行事（運動会・体育大会）の開催状況について (資料別冊)
学校教育課長から資料に沿って説明。

各委員から「運動会・体育大会」を参観しての感想・意見等あり。

(各委員) その他、意見・質問等なし。

○県新人大会の結果について (資料別冊)
教育総務課長から資料に沿って説明。

(各委員) 意見・質問等なし。

(桑原職務代理者：議事進行)
議事等が全て終了しました。

○その他 次回の開催について
次回は令和7年11月26日 水曜日の13時15分からに決定。

以上閉会。